

日本市場向けFAQ資料:

Bentley SystemsによるCesium買収後のCesiumの今後について

買収の背景について:

- **Q:** 今回のBentley SystemsのCesiumの買収は何が目的とされたものですか？

A: Bentley SystemsによるCesiumの買収は、両社の技術力を組み合わせ、3D地理空間情報を活用したインフラストラクチャ設計やデジタルツイン分野での革新を加速させることが目的です。Cesiumの先進的な3D地理空間技術は、Bentley Systemsのエンジニアリングソリューションと連携することで、より高度なデータの視覚化や相互運用性を提供し、ユーザーにとって新たな価値を創出します。

また、Cesiumにとってもこの提携は大きなメリットがあります。Bentley Systemsとの連携により、当社の技術をさらに広範囲の業界に展開できるだけでなく、Bentley Systemsのリソースやネットワークを活用することで、製品開発や市場拡大のスピードを加速させることができます。また、両社のオープンソースやオープン標準への貢献の姿勢・方針も共通しており、3D地理空間のエコシステム育成もさらに促進されます。これによってさらに多くのユーザーに最先端の3D地理空間技術を提供することが可能となり、グローバルな市場での成長をさらに加速させることが期待されています。

契約と料金について:

- **Q:** Cesiumとの既存の契約はどうなりますか？

A: 既存の契約条件に変更はありません。現在の契約はすべてそのまま有効です。

- **Q:** 料金体系に変更はありますか？

A: 現時点で料金体系に変更はありません。Cesiumの無料で提供されている製品やオープンソースのプロジェクトは引き続き利用可能であり、有料の商用サービスもこれまで通り提供されます。

サポートと販売体制について:

- **Q:** サポート体制に変更はありますか？

A: 現在のサービスやサポート体制には変更はありません。Cesiumのチームは引き続き現在の体制でサポートを提供し、サービスの品質も維持されます。

- **Q:** 販売体制に影響はありますか？

A: 販売体制には大きな変更はありません。日本市場における販売パートナーおよびチャネルはこれまで通りです。Cesiumの販売に対する窓口もこれまで通り変更はございません。

- **Q:** Bentley Systemsとの統合で新しい技術やサービスが提供されますか？

A: Bentley Systemsとの統合により、両社の技術を融合させた新しいソリューションの提供が今後期待されます。詳細な発表や新しいサービスの提供時期については随時ご案内します。

製品開発について

- **Q:** 今後の製品開発や機能の追加に影響はありますか？
A: Bentley Systemsとの連携により、製品の機能や性能がさらに向上することが期待されます。これに伴う大幅な変更はありませんが、今後のアップデートや新しい取り組みについては随時お知らせします。
- **Q:** 今後の更新やアップグレードに影響はありますか？
A: 既存の製品アップデートやメンテナンスは通常通り継続されます。特に大きな影響はありません。

顧客データのプライバシーや個人情報・セキュリティ管理について

- **Q:** 顧客データの扱いに変更はありますか？
A: 顧客データや個人情報の取り扱いに関しても変更はありません。Bentley Systemsによる買収後も、Cesiumはこれまで通りデータのプライバシーや個人情報を最優先に保護し、データ保護に関する方針はこれまで通り厳守され、セキュリティもこれまで通り厳しく管理されます。

連絡先とパートナーシップについて

- **Q:** 今後の連絡先や問い合わせ窓口は変わりますか？
A: 現時点では、既存の連絡先や問い合わせ窓口に変更はありません。引き続きご利用ください。
- **Q:** 日本国内のパートナーや販売チャネルへの影響はありますか？
A: 日本国内のパートナーや販売チャネルには、現在のところ大きな変更は予定していません。

オープンソースと標準化について

- **Q:** Cesiumのオープンソースプロジェクトは今後も継続されますか？
A: Cesiumはオープンソースとオープン標準に対してこれまでと変わらぬ強いコミットメントを維持します。無料で提供されているCesiumJSやその他のオープンソースプロジェクトは、引き続きコミュニティと共に発展させていく方針です。
- **Q:** オープン標準への取り組みはどうなりますか？
A: Bentley Systemsの一部となった後も、オープン標準を推進する姿勢はこれまで以上

に強化されます。Cesiumは引き続き、業界全体でのオープン標準との連携と相互運用性の促進に貢献します。

ブランドと経営体制について

- **Q: Cesiumのブランドや製品名は変わりますか？**
A: 現時点では、Cesiumのブランド名や製品名に変更はありません。Cesiumという名前は引き続き使用され、既存の製品体系もそのまま維持されます。
- **Q: CesiumのCEO Patrick Cozziの今後の役割はどうなりますか？**
A: Patrick CozziはBentley SystemsのChief Platform Officerとして、統合プラットフォームの開発強化と、引き続きオープンソースの推進、オープン標準の採用・連携、エコシステムの育成を強力に推進します。
- **Q: Cesiumの組織体制はどうなりますか？**
A: CesiumはBentley Systemsの一部となりますが、独立したブランドとしての運営を継続します。従来チームが引き続き製品の開発およびサポートを担当し、お客様へのサービス提供が継続されます。

帰属表示について

- **Q: CesiumのAttribution (帰属表示)とは何ですか？**
A: CesiumのAttributionとは、Cesium製品や技術を利用したアプリやツールにおいて、Cesiumのクレジット(帰属)を適切に表示する義務を指します。帰属表示は、Cesiumの技術やサービスの使用を公正に示すために必要です。
- **Q: 帰属表示の義務は今後も変わらないのですか？**
A: はい、帰属表示の順守義務は引き続き適用されます。買収後も、Cesiumを利用するすべてのアプリやツールにおいて、CesiumのAttributionを表示することが義務付けられています。
- **Q: 帰属表示はどのように行えばよいですか？**
A: Cesiumの利用規約に沿った帰属表示は、アプリやウェブサイト内にCesiumのロゴやクレジットを表示することで行われます。詳しくは、[Cesium ionの利用規約](#)をご確認ください。
- **Q: 帰属表示を正しく行っていない場合、どのような影響がありますか？**
A: 帰属表示が正しく行われていない場合、契約違反となる可能性があります。Cesiumの利用にあたっては、規約に従い適切に帰属表示を行うことが求められます。
- **Q: 帰属表示の具体例はありますか？**
A: 帰属表示の要件については、[Cesium ionの利用規約](#)の該当セクションをご確認ください。また、具体的な実装方法については、Cesiumのドキュメントやサポートにお問い合わせください。

その他参考情報

- Cesiumの元CEO Patrick Cozzikからの発表Blogをご覧ください

- [Cesiumからのブログ](#): 今後、これまで以上に3D地理空間ビジネスと、オープンソース、オープン標準、エコシステムの育成を強化していくことを発表
- OGCからの今回の提携を歓迎する発表をご覧ください
 - [Open Geospatial Consortiumによる、Bentley Systemsのオープンスタンダードに対するコミットメントについて](#)

免責事項

本FAQおよび販売情報は、2024年9月24日時点の内容に基づいて作成されています。記載されている情報は予告なく変更される場合があります。今後のアップデートや変更については、可能な限り事前に通知いたしますが、予告なく内容が変更されることがありますので、最新情報につきましては随時ご確認ください。